

●誰でも簡単に呼び出しが行えます

1 受付番号の発行

受付のボタンをタッチすると自動で番号が発行・表示され、患者様の呼び出し端末となります



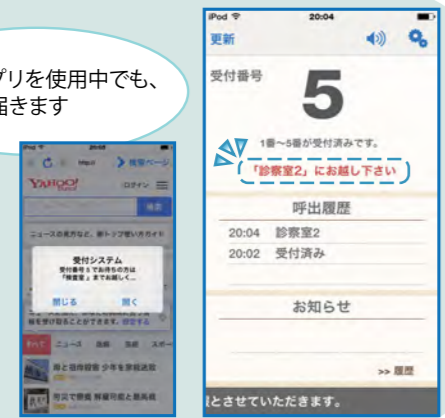
2 患者様の呼び出し

「受付番号」→「呼出し先」→「送信」で完了

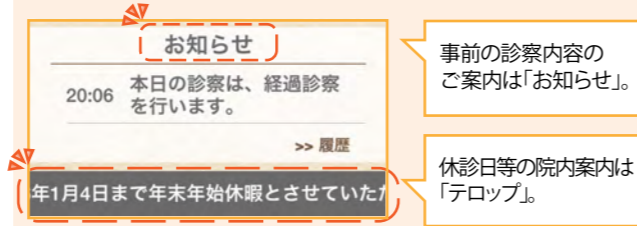


3 呼び出し通知

他のアプリを使用中でも、通知が届きます



メッセージ・テロップ配信機能



呼び出し画面上に「お知らせ」や「テロップ」が配信できます。伝えたい内容に応じて、使い分けいただけます。

●充実・満足のご提供プラン

初期費用なし + フルメンテナンス付



- リース期間中の破損や盗難は、すべて当社が保障します。
- 端末のシステムやアプリのアップデートは当社スタッフが行います。
- 新作アプリの紹介、オリジナルコンテンツのバージョンアップも行います。

スタッフ用はiPadもしくはminiをお選びいただけます。またiPod touchは、5色のバリエーションから院内の雰囲気にあったものをお選び頂けます。

●オリジナルアプリ

セキュリティブラウザ



アクセス履歴やログイン情報等を利用後に消去。複数の人が使用しても安心して利用できます。

ビューアアプリ



病院のご案内や検査や治療、病気の説明についてのテキストが閲覧できます。

お問い合わせ、ご相談は当社どうぞ

スマートな呼び出しで 外来患者さんのストレスを軽減



ここがスマート!

- ◆ 患者さんの名前を呼ばなくていいので、プライバシーが保たれます。
- ◆ 呼び出す先が表示されるので、患者さんの聞き忘れ・聞き間違いが防げます。
- ◆ 患者さんが病院内のどこにいても呼び出すことができます。
- ◆ 患者さんに渡す端末には、様々なコンテンツやアプリを搭載することができます。



ホスピッド
医療施設向けタブレット端末 **HosPad 外来呼び出しシステム**
導入事例

医療法人 杏月会 空の森クリニック 心を空っぽにして 治療に臨める環境

■ システム導入：2014年11月



理事長
徳永 義光さん

沖縄本島の南部は第二次世界大戦で壊滅的な被害を受け、人や建物だけでなく、多くの森も姿を消しました。戦後69年経った2014年、その地に空の森クリニックがオープンし、命を生み出す場所になっていました。多くの木々に囲まれた自然の力溢れるその場所で、HosPad外来呼び出しシステムを採用して頂いた経緯をお伺いしてきました。



スタッフ用：管理端末 ゲスト用：応答端末

心を空っぽにする森

空の森の『空』にはつらい心を、空(くう)、(から)にして治療に臨んで欲しい。そして『森』には、生命を生み出すのにふさわしい環境(森)が必要だ、という徳永理事長の“想い”がありました。この“想い”をコンセプトとともに形にしたのはグラフィックデザイナーの佐藤卓氏でした。佐藤卓氏の総合プロデューサーのもと、世界的な建築家である手塚貴晴・由比夫妻が造った建築物は、まさに空の森という名前にふさわしく床やドア、受付などあらゆる内装が木で作られています。そこはまさに生命が生まれ、育まれる森のような風景が広がっているのです。空の森クリニックでは不妊治療を受ける方は病人ではないという考えから、外来に来られる方を“患者”と呼ばず“ゲスト”と呼んでいます。そこにはどのような“想い”が込められているのか。この癒される雰囲気の中、今回のインタビューは行われました。



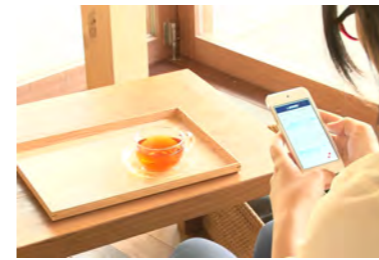
クリニックのシンボル
ガジュマルの木

リゾートホテルのような廊下

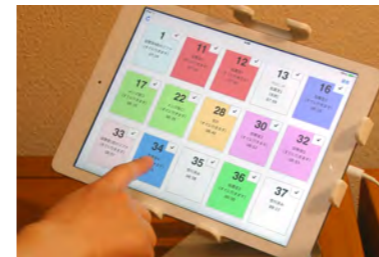
外来呼び出しシステムの機能

外来呼び出しシステムの運用は、ゲストが受付をした際に、受付番号が付与された応答端末を受け取る場所から始まります。ゲストは呼び出されるまで、応答端末内のコンテンツを自由に閲覧できるようになっています。

Q、呼び出しシステムを導入されたきっかけはなんですか？
A、「ゲストのプライバシーを守る為に、他人に名前を聞かれることなく呼び出せるシステムが必要だったんです。それが呼び出しシステムでした」
「沖縄のような小さな地域では、名前を呼び出されるだけで存在を知られてしまう事があるんです」
そうおっしゃった徳永理事長。以前はPHSで呼び出しを行っていました。
「不妊治療では、診察室や説明室、処置室など様々な場所に呼ばれます。呼ばれても何処に行ったらいいか迷ってしまうことしばしば。そこでPHSを使った呼び出しを行い、通話の中で行先を伝えていたわけです」
「しかし、PHSでも問題はありました。診察室2番と伝えたのに1番にきてしまうなど、聞き違いによる間違いが度々起こっていました」
「行先を文字で表示できる媒体でゲストを呼び出せないかと思っていたところ、このHosPad外来呼び出しシステムに出会いました」
「ゲストは、応答端末に表示された行先を確認しながら向かうことができ、間違える方が大幅に減りました」



クリニックのカフェでお茶を飲みながら診察待ちをしているゲスト。応答端末はゲストがクリニック内で自由に過ごす事を可能にしている。



スタッフはワンタッチでゲストを呼び出せ、行先も伝える事ができる。



ゲストの呼び出しだけに留まらず、「院内のご案内」や「不妊検査」など、バラエティに富んだコンテンツが利用できる。

- Q、呼び出しシステム(応答端末)に搭載された不妊治療や診察案内などのコンテンツはお役に立っていますか？
A、「もちろんです。丁寧な診察をしているとどうしても待ち時間が長くなる事があります。そんな時自分のスマホでは得られないような情報や、診察内容などを見て過ごされています」
「診察室に入って来られた時にコンテンツの画面がそのまま開いていて、今まで見ていたんだな、と思うような事も多々あります」
- Q、呼び出しシステムを使う事でゲストの呼び出しはスムーズに行えていますか？
A、「スムーズなのは勿論『スマート』な呼び出しを行えていると思います」
「何より他人にプライバシーを知られる事がありません」
「1時間に10名程の診察をする場合でも、スタッフがわざわざゲストの場所を問い合わせたり、探しに行ったりという事もほとんどありません」
「ゲストも診察などの待ち時間を指定された場所に留まることなく、クリニック内のカフェやライブラリーなど、好きな場所で過ごされています。決められた場所でじっと待たなければならない環境から、実にリラックスされた待ち時間を過ごされている印象を受けるようになりました」



ゲストルームにはHosPadが常備されている

ゲストの幸せを作り続けるクリニック

空の森クリニックは、つらい不妊治療をうけるゲストに、少しでも癒しを与えたい。そんな“想い”があふれるクリニックでした。
「うちではスタッフは白衣を着ません。どんなに穏やかな人であっても白衣を着ると高圧的になってしまうんです。着る物を変えると、ゲストに対するスタッフの物腰も柔らかく変わるんですよ。スタッフにはお客様を迎えるという気持ちを持って欲しいと思います」
このような徳永理事長のお話を聞き、呼び出しシステムをより良い物へと進化させる為の、また大きなヒントを頂いた気持ちです。



受付の際に応答端末が渡される

■ 空の森クリニック 導入システム

導入窓口：株式会社 沖縄メディコ

HosPad外来呼び出しシステム：管理端末15台/応答端末80台
HosPad(ゲストルーム用)：11台
案内用コンテンツ、動画等

【お問い合わせ】



株式会社 ホスピタルネット

東京都文京区本郷3-26-6(NREG本郷三丁目ビル)
大阪市北区西天満4-8-17(宇治電ビルディング)

http://www.hpnet.co.jp
TEL.03-5840-0877
TEL.06-6367-7677